

第2回御坊市介護保険事業計画策定委員会 議事要旨

開催日時 令和5年10月25日（水）午後1時30分から午後3時

場 所 御坊市役所 5階 大会議室

出席者 委員21名（欠席委員2名） アドバイザー2名 事務局8名

資 料 資料1 御坊市の今とこれから

資料2 御坊市の2040年を見据えて

1 開会 委員長挨拶

今から17年先の2040年に御坊市の人口動態がどうなっているのか、介護の需要がどうなっているのか、そしてそれを担う介護人材がどうなっているか。そういうことを踏まえて、今後の見通しについて議論を深め、2040年までに準備しておくべきことを洗い出し、対策を練っておかなければなりません。本日はそのためのディスカッションになりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 御坊市の今とこれから

アドバイザー小森氏から資料説明

3 グループワーク「2040年の未来はどうなっている？」

A～Eの5グループ別にグループワーク

○自分はどうありたいか

○そのためには何が必要か

各自付箋に書き出し、グループ内で発表しながらグルーピング作業を行った。



4 グループごとに発表

A 自分は どうありたいか	健康
	趣味を楽しむ (人とのつながり)
	経済的なゆとり
そのためには 何が必要か	運動
	介護予防
	交流する機会・場所
	見守り
	就労の場



【委員感想】

2040年に82歳になります。やはり82歳になっても動けたらいいなと思います。やはりコミュニティが大事で、人が集まれる場所が不足してきていると感じています。これから歳をとっていく身にとって、健康とか意欲ということは大切にしなければならぬということを実感しました。

B

自分は
どうありたいか

健康

経済的なゆとり

趣味を楽しんでいる

仕事のやりがい

友人・家族との関係

そのためには
何が必要か

適度な運動

歯・口の健康教育

仲間・友人

働ける場・機会

買物・生活支援



【委員感想】

自分ひとりでは、あまり多くの意見が出せなかったのですが、皆さんと意見交換していくと、思いが重なることも多く、意見がまとまりました。アフリカでこのようなことわざがあると聞きました。「早く動きたいなら1人でやれ。遠くへ行きたいなら皆でやれ。」今日のグループワークでは本当にその通りだということを感じました。

C 自分は
どうありたいか

健康

趣味を楽しむ

友人・家族との関係

経済的なゆとり

生涯学習

そのためには
何が必要か

バランスのよい食事

運動習慣

若者のエネルギー

コミュニケーション

車の運転ができなくても困らない社会になるために、自動運転や機械を使って、例えば「食材を配達してもらえたらいいな」といった意見も出ました。



【委員感想】

「やっぱり、健康やろ」と意見がでた時に、やっぱり健康が必要なのだと実感しました。貴重なご意見を知ることができてよかったです。健康になるためには、禁煙、禁酒、食事制限との意見があり、グループワークはそういう気づきの場にもなると感じました。

【委員感想】 みんなのエネルギーを十分いただきました。

D

自分は
どうありたいか

心も体も健康で自立

楽しみを続ける

お金 経済力

そのためには
何が必要か

食生活

心の余裕

集まる居場所

収入と貯金

デジタル

社会保障の施策



【委員感想】

意見は、それぞれが全部繋がっていて、1つのことになっているように思います。どれかが欠けると、どれかができなくなる。すると他のものもできなくなるということがあると思うので、やはり全てを大切にしていける必要があると思いました。

E

自分は
どうありたいか

健康

つながっていたい

仕事のやりがい

そのためには
何が必要か

体力と余裕

気軽に集まれる場所

社会保障

学ぶ意識



【委員感想】

私は、2040年には100歳になります。100歳を目標にそのための努力をしっかりとしています。25年間、ラジオ体操を続け、正月三が日と日曜日だけお休みです。フォークダンスを楽しんでいます。音楽に乗って踊るといのは、人間本来のものがあるように思います。それから卓球を始めて、今、5本に1本くらいはスマッシュが決まるようになりました。やはり「やる気」が1番大事です。やる気がなければ

ば何もできません。人に任せておいて自分が健康でいられるなんてことは絶対になりません。自分が努力してこそ健康になっていくものと思います。

【アドバイザー感想】

一人ではなかなか思いつかないことも、グループワークで意見を聞きながら考えると、たくさんアイデアが出てくるというお話をお聞きしました。それから、今、お話にあった、80代から卓球を始められた話とか、97歳の方の将来の夢が、飛行機に乗ることだとか…。

最初に皆さんに見ていただいた2040年のデータは、確かに暗い内容ではありますが、まだまだ時間はありますので、ぜひ、皆さんが報告されたようなことを少しでも現実に、楽しみを持ちながらできるように、準備ができたらと思います。

先日、防災関連のワークショップに参加し、そこでの話から、分かりやすい言葉の大切さやつながりの大切さについて改めて気づかせていただきました。難しい言葉で表現するのではなく、いかにわかりやすい言葉で、みんなに共有するかということはとても大事なことだと思います。

これから第9期介護保険事業計画策定に向けて、基本理念や重点課題のところに皆さんのご意見を含めながら、どうすれば皆さんが思い描くものに近づくことができるか、一緒に考えていければと思います。

5 委員長講評

今日はグループに分かれて議論をしましたが、最終的な結論はどのグループもほぼ同じような内容であったと感じています。それは、皆さんが日頃から、いろいろなところでこの課題を考えてきた結果であると思いました。また、そこで出てきた内容は御坊市のみならず、全国で直面している課題と同じであり、御坊市も全く例外ではないということです。

その課題をどう解決していくかについて、やはり考えていかなければならないのは役割分担。少ない人数で、できる人には1つの機能だけでなく複数引き受けてもらうとか、たとえ高齢者であってもできる人にはやってもらう。できるのに、何もしないということがないようにする。そして、誰が何をできるのかを洗い出し、それをどう配置していくかという少数再配置が大事だと思います。

先ほどの委員のお話にも非常に勇気づけられました。80歳以上になる方が自分で頑張ると明言されました。これはもうこの地域にとって非常に嬉しいことだと

思います。そういうことを多くの方が同じように発言できるように、我々もできることはしていかなければならない。自助、共助、公助のつながりも考えなければならぬし、人口が少なくなれば1つの地域だけでことを運ぶのではなく、近隣地域との協力関係を考えなければならぬ。2040年に御坊市の人口が2万人以下になるという話もある中、市役所にどれだけの人材を確保できるのか。市役所だけでなく、介護施設やその他様々なところの人材確保も課題です。

人が減ってくる中で、いかに応分の役割分担をしていくかをこれから考えなければならぬ段階にあると思います。それをすることによって、高齢者が未来に希望を持てるように、2040年になっても元気で生活できるように、そういう時代を作るための議論をこれから始めなければならぬと思います。

6 閉会

事務局 第3回策定委員会は12月20日（水）午後1時30分からを予定しています。